

事務局

〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6

TEL 0479-80-1177 FAX 0479-80-1178

第2790地区ガバナー 寺嶋哲生 第6分区ガバナー補佐 志田延子

昭和41年10月6日創立 / 昭和41年11月21日承認

例会日時 毎週木曜 12:30 点鐘

(夜間例会 18:30 点鐘)

例会場 横芝光町文化会館

URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>

E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

平成 29 年 9 月 7 日 発行 NO. 2194 第 2347 例会 会長 前川 成吉 幹事 倉石 昌治 会報委員長 桜井 隆宏

例会報告(平成 29 年 8 月 24 日)

点 鐘 副会長 土屋俊夫
ソング 「それでこそロータリー」
唱和 「四つのテスト」
会長挨拶 副会長 土屋俊夫
幹事報告 幹事 倉石昌治
プログラム

本日のお客様

八匠少年少女発明クラブ

前会長 栗本初太郎様

指導員 池田幸夫様

奨学金授与(王堯玉さん)

各委員会報告

卓話(栗本初太郎様)

事を感謝申し上げます。米山記念奨学生の王さん、宮城でのボランティアを終えての例会出席です。本日の卓話についてですが、私自身も小学生のとき工作をするクラブに入り、いろいろと工作をしていた事を思い出します。子供の頃から工具を扱っていたので現在も道具に対するアレルギーは少ないです。出来上がりの良し悪しは別ですけど。発明クラブでは子供の頃から物作りが出来るように指導する大事な仕事があります。物作りは日本人が大切に守り伝えなければいけない事です。ぜひ今後も発明クラブには頑張っていたきたいと思います。当クラブの会員はより一層の理解と支援をお願いいたします。会長代役なので短いですが挨拶を終わります。会務報告、連絡事項の伝達はありませんでした。

副会長挨拶



前川会長所要により例会欠席の為、副会長の土屋が代行致します。

本日の卓話の為に八匠少年少女発明クラブより前会長栗本初太郎様、指導員の池田幸夫様、本日の例会にいらっしゃいました。後ほど卓話をして頂けます

幹事報告



①例会のお知らせ(回覧)

・八日市場RC

②会報受領クラブ

・茂原RC ・東金RC ・茂原東RC

・茂原中央RC ・大網RC ・東金ビュールC

③活動計画書受領クラブ

・茂原RC ・東金RC ・大原RC ・大網RC

・茂原東RC ・茂原中央RC ・東金ビュールC

④ご案内

・ガバナーエレクト事務所開設のご案内

- ・米山梅吉記念館館報 2017 秋号と秋季例祭のご案内
- ・ハイライトよねやま 209 号(2017. 8. 10 発行)
- ⑤その他お知らせ
 - ・10/23 地区大会記念ゴルフ大会(柏市 藤ヶ谷 C.C.)
申込は 8/29 まで
 - ・東町区祇園祭寄付のお礼状
 - ・当クラブ奨学生の王さんが「日本語能力検定 1 級 (N1)」にみごと合格しました。

「奨学金授与」



王さん / 土屋副会長 (カウンセラー)

近況報告 敬愛大学では東日本大震災が発生した 2011 年から毎年夏休みに宮城県での復興支援ボランティア活動を行っています。今年は 7 年目になりました。今回の夏休み、私も初めてのこの活動に参加しました。今日は宮城ボランティアに参加した後の感想について皆様に伝えたいと思います。三日間のボランティア活動で宮城の仙台市、名取市と福島県のいわき市に行って、現地の人々の話を聞いた後、本当に衝撃し、感動しました。この度たくさんの感想がありましたが、特に印象に残るのは二つあります。一つ目は、^{ゆりあげ} 閑上遺族会は犠牲した 14 名中学生を記念するために、閑上中学校敷地内に慰霊碑を建てたことです。慰霊碑に 14 名学生の名前を書きました。その慰霊碑の隣、二つのテーブルに「閑上大切な仲間 14 人がやすらかな眠りにつける様祈っています。津波を忘れても 14 人を忘れないでほしい。いつも一緒だよ。」というメッセージがあります。中学時代は人生一番美しい時期なのに、津波で 14 名中学生の人生が終わったのは本当に悲しいことです。当時、私は自然災害の怖さを強く感じました。慰霊碑の隣は「閑上の記憶」という記念館があります。記念館で閑上中学校遺族会の代表 丹野さんのビデオを見ました。丹野さんは多く

の人々が防災の重要性と命の大切さを認識されるために、息子を失う辛い体験と向き合い皆様に伝えるのは感動しました。最後に自分の温かい気持ちは少しでも 14 名の中学生に届けたいので冷たい慰霊碑に触れました。二つ目は、いわき市立勿来第一中学校在学中に活躍した女子学生にお話を伺ったことです。この 4 名の女子学生は自分の力でふるさと復興のために、中学生から今までも様々な活動に参加し、できることを最大範囲までやるのは非常にすごい事だと思います。今回宮城ボランティアが終わった後、私は「復興」についてたくさん考えました。「人を救援だけではなく、人を癒す」、「同情ではなく、自分の気持ちをちゃんと理解してほしい」というようなことは地元の人々から伺いました。一体「復興」とはなんでしょう。確かに国からもらった物資は復興の基礎です。しかし、どんな努力しても元に戻すのはすごく難しいことです。今回福島へ行った時、バスの窓から放射線量が非常に高く、帰還困難の地域を見ました。多くの綺麗な家、店は住むことができなくて、道路にも歩いている人はいなくて驚きました。初めて原子力の怖さを強く感じました。帰還困難地域に住んでいてふるさとを失う人々、震災で家族を亡くした人々に対して心を癒すのは重要です。だから地元でコミュニティをやって祭りもやり続けています。そして地元の方は自分でもたくさんの記念碑を建てて、当地へ行く多くの人々に様々なこと伝えていきます。明るく、強く、これは私にとって宮城と福島の方々の印象です。今回宮城ボランティアに参加して本当に良かったです。

委員会報告

◇地区米山記念奨学委員会



委員長 富 一 美

先日、王さんが親子三代夏祭りのお神輿担ぎに参加してくれました。最初から最後まで担いでいただき米山奨学生の本分を全うして頂きまして大変な広報

活動になりました。この行事は、国際ロータリー第2790地区第3分区Aの7クラブが一つの広報活動を合同で企画、実施することで各クラブの力を結集し、ロータリーの活動を地域の人々に理解して頂き、より広範囲な広報活動の拡大を図る目的で開催されました。また、米山学友会、インターアクト、ローターアクトも、2790地区ロータリークラブのハッピーを着て参加し、日本の伝統文化であります「お神輿かつぎ」を体験させていただきました。



写真左下 / 王堯玉さん

8/26 (土) クラブ米山記念奨学委員長セミナーが千葉商工会議所にて開催されます。当クラブからは越川忠米山委員長が出席いただく事になっております。当日は学友会のブサコンタンサガーサクツィーさん(タイパナソニック販売社長秘書)をお招きしております。ご興味のある方は是非参加していただきたいと思います。

外部卓話

「八匠青少年少女発明クラブについて」



指導員 池田幸夫様 / 前会長 栗本初太郎様

本日は成田空港南ロータリークラブの例会にお招きいただきありがとうございます。また、当八匠少年

少女発明クラブの説明をする機会をいただき感謝申し上げます。今回のご招待にあたりまして、本来ならば会長の笹本が挨拶申し上げるところではございますが、現職教員である為ウィークデーは出席できず、私栗本と池田が当クラブの活動報告のためにこちらに伺いました。よろしくお願い致します。

いつの世にあっても、次代を担う子どもたちを健やかに賢く育てていく営みは不可欠であり、学校教育のみならず広く社会全体の持つ様々な教育機能の中で子どもたちはたくましく成長していくものです。子どもの頃の体験というものは人の一生の成長に深く関わっています。少年少女時代の感動的な原体験はその人の生涯を通じて鮮やかな記憶として残るものであり、ひとつのことを努力してやり遂げた体験は爽やかな成就感とともに自分自身に対する強い自信と主体性を生み出します。少年少女時代には様々なそして質のいい体験を十分にさせたいものです。発明クラブは少年少女の創造性開発育成のため社団法人発明協会が昭和49年から全国的に設立を進めてきたもので、現在、全都道府県に設立されており、クラブ数は平成28年度末218(内休止7)となっています。

八匠青少年少女発明クラブの概要・沿革

千葉県内には「千葉市青少年少女発明クラブ」「船橋かつしか青少年少女発明クラブ」「松戸市青少年少女発明クラブ」「市原・袖ヶ浦青少年少女発明クラブ」「佐倉青少年少女発明クラブ」「旭青少年少女発明クラブ」「茂原青少年少女発明クラブ」そして「八匠青少年少女発明クラブ」の8クラブが設立されています。八匠青少年少女発明クラブは千葉市青少年少女発明クラブについて歴史が古く昭和55年5月11日に千葉県内2番目の発明クラブとして発足いたしました。少年少女の創造性開発、育成の意義と重要性を深く理解して下さる多くの団体、企業、個人の協賛を頂いて運営されています。

目的

少年少女に家庭や学校の生活を離れて、異年齢の集団の中で工作活動を通じて完成する喜びを体得させ、科学的発想に基づく生活態度を育成するとともに創造性豊かな人間形成を図ることを目的とする。

クラブ活動現状と課題

○教室の広さと定数の問題

平成28年度のクラブ修了書授与人員26名で、本年度クラブ活動に参加した児童も26名で昨年度並み

のクラブ員の確保が出来た。当クラブ員の定員は募集要項では40名となっているが、40名の応募があったら教室の広さから考えるとどうも収容することは出来ない。活動する教室は工作用の机が6台あるが作業している子ども同士がふれあうようにして活動をしている。そのため安全への配慮は最重要課題である。

○クラブ員の確保と指導員の確保

クラブ員の確保のために、毎年修了式が終わった次の週にクラブの役員が各学校を訪問して校長先生や教頭先生に直接創造することの意義や異学年集団での活動の意義等を訴えて発明クラブへの参加をお願いしている。このような地道な努力の結果当クラブへ参加してくれる子どもが増えつつある。しかし指導員の人員確保が毎年課題となっている。指導員の数名は80才を超えているので60才代の定年間もない活力のある指導者の参加を切に要望する。科学技術が進歩している昨今、指導者も研修を積み重ねる必要に迫られているのは事実であるが、現役の仕事を持つ指導員ではなかなか研究に時間を割くことが出来ない。

○協賛団体の現象と資金繰りの問題

匝瑳市教育委員会、横芝光町教育委員会のご理解により市や町から活動補助金を頂いて活動をしている。また、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、畔蒜工務店、菱木運輸さんから多大なる援助を頂いて活動をさせていただいている。これらの支援が無くなればたちどころに活動が滞ることは火を見るより明らかである。創造することは子どもたちの成長に大きな経験をもたらすことと思います。是非今後ともご支援をお願いしたいと思っております。

○作品展ありきの活動からの脱却

近年発明クラブの指導の方針が夏はチャレコン、冬は県作品展というように子どもたちは創造活動をするより前にこの展覧会や大会に間に合わせなければいけない風潮ができあがりつつあるように思われる。自分のアイデアでもない工作に取り組むことは果たして好ましい状態だろうか。「展覧会が先か?」「アイデアや創意工夫が先か?」と言われるまでも無く、アイデアや工夫ありきの展覧会であると考え。たとえ出品数が0となっても子どもがアイデアを出すまで待つようにしていかなければならないと考える。そのために日頃の生活の仕方が問題になる。「もっと、こうなればいいのに。」「これは、不便だ。」と感ずることが発明の第一歩である。

一方で創造活動への意欲が高くアイデアが豊富な子どももいるので、これらの子どもにはつくば科学万博記念財団主催の「全国ジュニア発明展」や「市村賞アイデアコンクール」に積極的に出品できるように方針を変えていこうと考えている。本年度も1名の児童が「全国ジュニア発明展」に応募して入選の結果を頂いている。さらに2名の児童が市村賞アイデアコンクールに挑戦中である。

八匠少年少女発明クラブは子どもたちの創意工夫を重点に置き、子ども一人一人が持つ発想を指導員が話し合いを中心に多く引き出し、図や形に出来るように支援していきたいと考えている。小学生時代の考える経験、ものつくりの経験は、一生の成長に深く関わっていくものであると信じて子ども一人一人に寄り添い活動を続けていきます。発明クラブはどこにでもあるものではありません。発明クラブが近くにあつてよかつたと言われるように、日々精進していく所存です。今後ご指導ご支援をお願い致します。

■ ニコニコボックス

青柳誠君・土屋俊夫君・内田裕雄君・小林定雄君
伊藤元雄君・高田一行君・花澤昇一君

…発明クラブ栗本様、池田様ようこそお越しくださいました

富一美君…第3分区Aの7クラブ主催の親子三大夏祭りにお神輿担ぎの王さんと参加してきました
石田喜一君…お盆終わりました

倉石昌治君…残暑お見舞い申し上げます

小川佐内君…先日は納涼会ありがとうございました

本日計	11,000円
累計	128,000円

■ 出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
8月24日	35	25	30	83.33

☆ 欠席をしたらメーカーアツをしましょう ☆